

修了生の活躍事例

ポリテクセンターで受講した内容が 今の仕事内容の繋がっています

前職を退職後、技術職に就きたいと考えていた所、ポリテクセンターを知りました。電気や通信に興味があったこともあり、電気設備エンジニア科で知識を得たいと思い、入所を決めました。

訓練中、模擬キュービクルを見て構造を学んだり、高圧機器に関する知識や、制御回路を配線する技術を習熟したことが、今の業務に活かされていると感じます。

株式会社 ミズト

TSさん (33)

[⇒前職：サービス業(正規)]

電気設備エンジニア科
(6か月訓練)

令和5年8月 入所
令和6年1月 修了



今、習熟しようとしていること

主にキュービクルの組立配線業務に従事しており、実際のキュービクルを見て、図面ではどう表現されているかを習熟したいと思っています。

具体的には、「高圧機器の扱い」、「主回路部分の支持」、「制御回路の配線」に関して理解を深めたいと思っています。

将来、身に付けたい技術

キュービクルの組立配線業務で技術や知識をしっかり身に付け、現場の意見や習熟したノウハウを設計業務に活かせるような技術者になりたいと考えています。

就職先企業での活躍

TSさんの業務

主にキュービクルの製造に携わっております。筐体の組立、機器の実装、配線を担当しています。



採用者の声 代表取締役社長 水登 栄治様

TSさんは、制御回路やCADを使用した設計業務に興味を持っていました。特にシーケンスに関する業務で威力を発揮しています。

今後、OJTで制御機器の種類、用途、定格について理解を広げていけば、設計、組立配線のどちらでも活躍できる戦力になると思います。

電気設備エンジニア科の訓練で高圧機器、制御機器の両方に知識があり、就職してからの習熟に戸惑いが少なかった様に感じました。

株式会社 ミズト (広島県広島市)

現在ポリテクの修了生3名が活躍

弊社は電力インフラに関わるお仕事をさせていただいております。

電気は生活にはなくてはならないインフラの1つで、今までにも多くのキュービクルを生産してきました。

キュービクルは高電圧を扱う知識と技術、またその大きさから、大きな工場設備を必要とします。

近年、自然災害も多く、電力の安定供給で社会貢献していることが「やりがい」に繋がっております。

これからも、設計から、電気検査まで一貫して行える技術を磨いていきます。

(キュービクルの納入実績) ・変電所 ・公共施設 ・物流センター ・高圧受電の工場 ・交通インフラ

